

第 98 回理事会、第 26 回加盟団体代表委員総会を開催

【県総務委員長 赤間善浩】



3月9日(土)、塩尻市えんぱーくにおいて、第98回理事会、第26回加盟団体代表委員総会を開催しました。開会前、2月にご逝去された近藤力夫常務理事の黙とうを行いました。

冒頭、船木会長からは、「2024年、甲辰の年は、物事の始まり、勢い、大きな力を付ける成長の年。今年の夏にパリオリパラが開催されることもあり、スポーツに対する関心が一層高まる。Vリーグは、今年の秋からSVリーグという新しい形になる。また、2028信州やまなみ国スポ、全障スポーツ大会が

4年後に迫ってきた。中学部活の地域移行については、既に県ヤングクラブ連盟が設立された。当協会は、いくつもの課題をクリアしながら着実に進んで行かなければならない。新年度が当協会にとって、さらに充実した一年になるようご協力をお願いしたい。」と挨拶がありました。

理事会では、令和6年度事業計画(運営基本方針・4地区事業・各委員会事業)、令和6年度予算、県ヤングクラブバレーボール連盟の正式加盟等について審議を行い、いずれも承認されました。その後の加盟団体代表委員総会においても、理事会承認事項等の報告が行なわれました。



第17回長野米カップ長野県小学生バレーボール大会

男子は塩田VBC、女子は豊科JVC、混合は上田六文銭がそれぞれ嬉しい初優勝

【県小連理事長 西澤悦郎】

3月3日(日)、長野市真島総合スポーツアリーナ(ホワイトリング)において、各地域の予選を勝ち抜いた男子8チーム、女子16チーム、混合4チームで第17回長野米カップ長野県小学生バレー

ボール大会県大会を開催しました。男子は「塩田VBC」、女子は「豊科JVC」、そして混合は「上田六文銭」という各カテゴリーで全てが初優勝という結果でした。以下、各優勝チームのコメントです。

「2023年度 第17回長野米カップ 長野県小学生バレーボール大会を終えて」

《男子優勝》【塩田VBC男子監督 和田英樹】



塩田VBC男子チームとしては悲願の県大会初優勝を飾ることができました。

今年のチームは小さくて攻撃力はありませんが、サ

ーブで攻めて拾って繋ぐ粘りのバレーで、どの試合も長いラリーを制することができたことが勝因だと思っております。メンバーの中には昨年も決勝の舞台に立ち、悔し涙を流した選手もいました。今年は最後の1点を取った瞬間、コートに倒れ込んで喜び、嬉し涙を流す選手達の姿を見ることができて本当に嬉しく思います。まだまだ課題はたくさんありますが、6月に開催される全日本小学生バレーボール大会でも優勝を目標にチーム一丸となって更なるレベルアップができるよう頑張りたいと思います。最後に、本大会開催に当たりご尽力いただきました関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

「2023年度 第17回長野米カップ 長野県小学生バレーボール大会を終えて」

《女子優勝》【豊科JVC代表 丸山文生】



今までに米カップ（新人戦）県大会には数度出場していましたが、昨年度は3位と後1歩及ばずで、まだこの大会では優勝がありませんでした。

今年こそ夢の栄冠をと、選手・スタッフ・保護者

一丸となって臨みました、試合が始まると緊張からかペースが上がらず、第一試合は1セット目26-24と大苦戦。2セット目もなかなか点差を離せない厳しい試合で21-18と何とか接戦を制し、準決勝でもフルセットと苦戦が続きました。しかし、選手たちは自分を信じ、仲間を信じて最後まで諦めずにプレーしてくれました。6年生も駆けつけて応援で盛り上げてくれた結果もあり見事優勝！豊科JVCの夢であった初の米カップ優勝、を手にしました。

今後はこの結果に慢心せず、次の全日本小学生バレーボール大会県大会でも2度目の優勝に向けてもっと頑張りたいと思います。最後になりましたが、本大会協賛・協力会社の皆様、運営スタッフの皆様、参加チームの皆様に感謝申し上げます。

「2023年度 第17回長野米カップ 長野県小学生バレーボール大会を終えて」

《混合優勝》【上田六文銭監督 北村弘美】

チーム構成は5年生6名・3年生1名・2年生5名で、上級生の経験値が浅いチームです。混合はとてもチーム作りに苦戦しました。男子・女子の体力や運動能力、集中力の差が大きい。そして、お互いコミュニケーションが上手く取れないということです。それでも子供達は5年生中心に”県大会優勝”

という目標を掲げ、練習や練習試合に頑張ってきた。

試合の方ですが、1回戦はサーブが走って2-0のストレート勝ち。しかし、決勝の1セット目は勝ちを意識してしまったのか、レセプションがセッターに返らなかつたり、声を出さずコートにボールが落

ちてしまったりと、上田六文銭らしい大きな声と笑顔でプレーすることが出来ませんでした。2セット目はフォーメーションを思い切って変えたら落ち着きを取り戻し、第2・第3セットを連取して優勝することが出来ました。上田六文銭創立6年目にして長野米カップ混合の部で初の県大会優勝でした。

最後になりますが、本大会開催に御尽力頂きました関係者の皆様にチームスタッフ及び保護者より感謝申し上げます。上田六文銭は、これからも「One team」で挑戦して行きます。



2023-24 V.LEAGUE Division1 MEN 伊那大会

VC長野トライデンツ 伊那市でのホームゲーム最終戦を白星で飾る！

3月2日(土)・3日(日)の2日間、ヴォレアス北海道(以下「北海道」)を迎えて伊那市の伊那市民体育館(エレコム・ロジテックアリーナ)に於いてVC長野トライデンツ(以下「VC長野」)のホームゲーム最終戦が開催されました。2日間で合わせて2,000人に迫る観客を集めての大熱戦となりました。

初日の2日には、VC長野のチーム所在地である南箕輪村にある南箕輪中学校男女バレー部員が招待され、始球式を同校男子バレー部2年生で身長190cmの木村崇秀君が務めました。会場が盛り上がる中で始まった試合ですが、第1セットは中盤過ぎ迄効果的なブロック等でVC長野がリード。しかし、ここから北海道にサーブで崩され、逆転でこのセットを失いました。2セット目以降もVC長野はサーブレシーブが安定せず、逆に北海道の好レシーブ等にも

【上伊那協会理事長 城田孝夫】

遭って殆ど相手にペースを握られたまま、0-3での敗戦となりました。

南箕輪村の藤城栄文村長の始球式で始まった2日目は一転、VC長野がサーブで北海道にプレッシャーを掛ける展開が続きました。前日は不安定だったサーブレシーブも若干安定し、22点で失った第3セットを除いては、終始リードを保ちながらゲームを支配しました。流れが北海道に行きかけても、効果的なサーブやブロックが要所々々で飛び出し、セットカウント3-1で今シリーズのホーム最終戦を見事白星で飾りました。このVC長野の雄姿に、お越し頂いた観客の皆様も大いに盛り上がる事が出来ました。

最後になりましたが、この伊那大会に携わり支えて頂いた関係各位に感謝を申し上げます。



長野GaRons ホーム最終戦で2連勝を飾る！

【須高協会理事長 黒岩龍也】

3月9日(土)・10日(日)に須坂市民体育館で開催された長野GaRons(以下「ガロンズ」)ホーム最終戦は、今シーズン一番の盛り上がりを見せました。これまで17戦を終えて、ガロンズは10勝7敗で6位ながら、勝率で3チームが並ぶ大混戦。残された3戦を全て勝つと、ファイナルラウンド進出の可能性もあるだけに、ホームゲームでの2戦がとても大事になってきます。

大会初日は、トヨタモビリティ東京スパークル(以下「トヨタ」)との対戦でした。前回敗れている相性の悪いチームとの一戦。第1セットは、ガロンズが終始優勢にゲームを進め、先にセットポイントを握るもトヨタが追い上げてデュースになり、30点に及ぶ攻防は、最後トヨタが逆転でこのセットを奪取しました。第1セット終盤の勢いそのまま第2セットはトヨタが先行。しかしその後、点の取り合いのまま迎えた終盤、最後はガロンズが抜け出してセットを取り返しました。両チームとも持ち味を全て出して、第3セットはトヨタが、第4セットはガロンズが取って、勝負の第5セットになりました。序盤から激しい攻防が繰り広げられ、両者譲らずそのまま終盤となります。会場の声援も熱を帯び、最後は応援に後押しされたガロンズが競り勝ち、フルセットに及ぶ大熱戦を制しました。

2日目は、連勝で勢いづく近畿クラブスフィード(以下「近畿」)と対戦。近畿は大学生主体のチーム

で、勢いに乗らせると怖いチームでした。第1セットから若さ溢れる近畿の攻撃に対し、ガロンズはサーブで崩してブロックで対抗。各セットとも点の取り合いが続く我慢のゲーム展開が繰り広げられました。最後は、ガロンズのブロックが近畿の攻撃を上回り、3セット連取で見事勝利を収め、場内は大きな歓声に包まれました。



今シーズンのガロンズの躍進ぶりを象徴するホームゲーム最終戦。立ち見が出るほどの大盛況の中、ガロンズが2連勝を収めるというこれ以上ない好結果で終わりました。

これでガロンズは12勝7敗となり、4位に順位を上げました。残すところ後1試合です。次週の東京ベルディ戦に勝利すると、勝率で並ぶもポイント差で3位となり、ファイナルラウンド進出が決まります。

県ヤングクラブ連盟主催 ドリームキャラバン講習会の開催

【県ヤングクラブ連盟副会長・強化普及委員長 峰村 保】

3月17日(日)、塩尻市の塩尻中学校体育館において、県ヤングクラブ連盟主催によるバレーボール教室が開催されました。今回はV2女子ルートインホテルズブリリアントアリーナが運営する「ドリームキャラバン」を活用させていただきました。

講師の藤岡さん・伊藤さんには、丁寧かつ熱くご指導をいただき、参加者も得るものが多かったものと思います。同じバレーボールでも練習バリエーシ



ヨンは無限であること、少しの工夫で楽しさが増すことも気づけたと思います。また、怪我予防やプレー動作に直結するようなウォーミング方法、現時点（ジュニア世代）で体得しておきたい基本動作など盛り沢山の内容でした。今回のバレー教室を通して

得たものが選手・チームそれぞれの今後に活かされていくことを願っております。最後となりましたが、会場のご提供と準備をいただきました塩尻中学校の田辺先生と生徒の皆さんに心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

令和5年度長野県スポーツ振興功績者表彰

村上里志氏が有功章を受章！

【県総務委員長 赤間善浩】

3月21日(木)、長野市のホテル国際21において、令和5年度長野県スポーツ振興功績者表彰授与式が開催され、本会の村上里志副会長・専務理事が「有功章」を受章されました。「有功章」はスポーツ団体の主要役員として10年以上従事し、社会体育振興に貢献した方に授与されるものです。村上氏は平成11年以来、本会運営理事・理事を25年間歴任し、主に強化委員として競技力向上に尽力されました。特に国体成年女子9人制は自らチームを率いて本県の得点源としての地位を築き、平成23年度に9人制種別が廃止されるまで、21回の本国体出場を果たし、準優勝1回、第3位5回など、長年に亘り国体天皇皇后杯得点の獲得に貢献したことは、偏に村上氏の手腕によるものです。

令和元年からは本会専務理事に就任し、コロナ禍、2028国スポ対応、本会のガバナンスの強化、Vリーグ対応、中学部活の地域移行など、難しい課題への

対応の先頭に立つだけでなく、本会の更なる発展にその手腕を発揮されています。

村上副会長・専務理事には誠におめでとうございます。今後益々のご活躍をお祈りいたします。



3月試合結果

☆第17回長野米カップ長野県小学生バレーボール大会

https://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/R6.3.3_naganomaicup.pdf

☆菅公学生服杯 第22回北信越中学新人バレーボール優勝大会

https://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/R6.3.17_kankocup.pdf

☆2022/23 V.LEAGUE Division1 MEN 3/25/26 VC 長野：伊那市)

<https://www.vleague.jp/form/a/28600>

<https://www.vleague.jp/form/a/28601>

☆2022/23 V.LEAGUE Division3 MEN 3/9~10 長野ガロonz：須坂市)

<https://www.vleague.jp/form/a/28975>

<https://www.vleague.jp/form/a/28977>

4 月 スケジュール

- 4/6(土)~7(日) 北信越連盟 A級審判員講習会 (大町市)
4/7(日) 県協会加盟団体審判委員長会議 (大町市)
4/13(土)~14(日) Progress Plan 2024 第1回 指導者講習会(中学生指導者) (長野市)
4/14(日) 県協会競技委員会 (安曇野市)
4/20(土) 北信越連盟総会 (富山市)
4/21(日) 中部日本 6 人制総合男女選手権大会高校の部県予選会 (岡谷市)
4/26(金) 県スポーツ協会加盟団体代表者会議及びガバナンス向上研修会 (長野市)
4/28(日) 県協会指導普及委員会 (Web)

NVAニュース編集委員会

村上里志、赤間善浩、木下久資、堀内和美